

2014年3月期通期連結決算報告 (2013年4月1日～2014年3月31日)

- 通期業績は見通しどおり達成
- 主要なリストラ施策は完了し、その効果も発現
- 市場状況は概ね安定的
- コスト削減により営業利益改善
- 2015年3月期は、更なる改善を想定

通期業績は見通しどおり達成

- グループ売上は、6,061億円 で前年比16%増収(前年同期5,213億円)、為替変動を除くと前年比2%増
- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は、コスト削減を反映し224億円(前年同期90億円)
- 建築用ガラス事業は、売上2,406億円(前年同期2,157億円)、営業利益109億円(前年同期3億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上3,051億円(前年同期2,450億円)、営業利益112億円(前年同期48億円)
- 高機能ガラス事業は、売上594億円(前年同期594億円)、営業利益59億円(前年同期67億円)
- 持分法適用会社の業績は地域ごとに異なり、コロンビアでの立ち上げ費用とロシアの利益損失をブラジルの利益増加で相殺

主要なリストラ施策は完了し、その効果も発現

- リストラチャリングにより、前年比103億円の利益効果
- リストラ施策により稼働率水準改善
- 生産性改善は依然主要項目であり、施策を引き続き継続
- 次のステップであるグループの収益力改善に注力

市場状況は概ね安定的

- 欧州建築用ガラス市場は概ね安定的
- 欧州自動車用ガラス市場も安定的に推移し、下期には若干の改善
- 日本では、建築市場において経済指標が引き続き改善。自動車市場では、円安により完成車輸出増
- 北米では、国内需要回復により建築市場改善。自動車市場も引き続き堅調
- その他地域では、建築用ガラス市場は需要増加、自動車用ガラス市場は年度末にかけて減速
- 高機能ガラス市場は、サブセグメントごとに好調と低調が混在

2015年3月期は、更なる改善を想定

- 2015年3月期は市場状況の緩やかな回復を想定
- 欧州市場は、欧州経済危機以前の水準をなお下回るものの、引き続き緩やかな回復
- 日本では、消費税増税が自動車用ガラス市場にマイナスの影響を与えるものの、建築用ガラス市場では前年度からの良好な建築関連の先行指標が継続
- 北米では数量増加を見込み
- 南米では比較的軟調
- 高機能ガラス市場は前年度並みを想定

連結損益計算書



(億円)	14年3月期 通期	13年3月期 通期	前年比
売上高	6,061	5,213	16%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	224	90	
償却費*	(79)	(70)	
個別開示項目前営業利益	145	20	
個別開示項目	(138)	(192)	
営業利益(損失)	7	(172)	
金融費用(純額)	(181)	(162)	
持分法による投資利益	10	23	
税引前損失	(164)	(311)	
当期損失	(165)	(335)	
親会社の所有者に帰属する当期損失	(176)	(343)	
EBITDA	544	375	45%

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと+2%

コスト削減により営業利益改善

2014年5月15日 | 2014年3月期通期決算報告

2015年3月期通期業績予想



(億円)	2015年3月期 見通し	2014年3月期 実績
売上高	6,200	6,061
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	290	224
償却費*	(80)	(79)
個別開示項目前営業利益	210	145
個別開示項目	0	(138)
営業利益	210	7
金融費用(純額)	(190)	(181)
持分法による投資利益	30	10
税引前利益(損失)	50	(164)
当期利益(損失)	20	(165)
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	10	(176)

*ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

市場は徐々に改善し、収益増加

2014年5月15日 | 2014年3月期通期決算報告